

第11回

ビジネスの担い手 情報通信業

執筆・講師 宮坂恵美子



学習のねらい

携帯電話やインターネットは、私たちの生活に欠かせない存在になっています。ビジネスにおいても、インターネットの普及や情報通信技術の発達が新たなビジネスを生み、ビジネスのやり方を大きく変えています。情報通信業は、「流通を円滑にするビジネス」の担い手です。情報通信業の役割と種類を理解し、どのようなビジネス活動をしているのかを学びます。さらに、情報通信技術の進歩によって生まれた新しいビジネスについても紹介します。

調べておこう・覚えておこう

インターネット／情報／シェアリングエコノミー

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① 情報通信業の役割と種類

私たちはスマートフォン、パソコン、テレビなどの情報端末を使っていろいろな情報を手に入れ、生活や仕事の中で活用することが当たり前になりました。

コンピュータや通信技術を使って情報をやり取りすることを「情報通信」といいます。この活動をビジネスとして行うのが「情報通信業」です。

情報通信業は、 ① を商品として、情報を通信したり共有するなどのサービスを提供する役割を担っています。

①は番組出題問題です。

👉 Point ② 情報通信業のビジネス

情報通信業には、次のようなビジネスがあります。

▶ 通信業

① 電話事業

携帯電話や固定電話に関するビジネスです。保有率が70%を超えたスマートフォンは、個人が利用する情報通信端末として欠かせないものとなっています。

② インターネット通信業

インターネットへの接続サービスなどを担うビジネスです。インターネットは情報を得るた

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

め的手段としてだけでなく、個人でも情報を発信し、共有するためのソーシャルメディアとしての発展もとげています。近年は無線でインターネットに接続できる Wi-Fi が広く普及しています。

▶放送業

テレビやラジオなど放送に関するビジネスです。またテレビ・ラジオ番組をインターネットで楽しめるサービスもあります。

▶インターネット関連サービス業

ニュース・天気予報・ショッピングなど、さまざまな情報を提供するサービスを行うビジネスです。安全なネット環境を守るための情報セキュリティに関するビジネスもあります。

▶システム開発業・ソフトウェア開発業

情報通信に関するシステムやソフトウェアを開発するビジネスです。スマートフォンのアプリやゲームをつくっているのもソフトウェア会社です。

情報通信業には、通信業、放送業、② 関連サービス業、システム開発業・ソフトウェア開発業などがあります。

②は番組出題問題です。

 Point ③ 情報通信業の動向

近年、情報通信技術の進歩によって、これまでにはなかった新しいビジネスが生まれています。そのひとつが「シェアリングエコノミー」とよばれるサービスです。

例えば、『空いているスペースを提供したい』人と、『スペースを利用したい』人がいた場合、この両者のニーズをインターネット上で結び付け共有し、最適な人同士をマッチング機能という AI 技術も活用して結びつけてくれます。これによって、廃屋・廃校・空き倉庫など、使われずに眠っていたスペースを有効活用してもらうことができます。

このサービスを運営してる会社のウェブサイトには 10,000 件もの空きスペースが登録されているそうです。利用者はスマートフォンから手軽に利用できるため、さまざまな空きスペースが、それぞれの目的で利用されています。例えば、上映時間外の映画館でセミナーを行ったり、城の敷地でキャンプができたり……などなど。情報通信技術は人と人、人と場所を結びつけるサービスも実現していています。



第5世代移動通信システム・5G（ファイブジー）の導入によって飛躍的に進歩するとされている情報通信業。私たちの未来はどのように変わっていくのでしょうか？

情報通信業では、人・もの・場所などを共有できる ③ というサービスが拡大しています。

③は番組出題問題です。

解答欄

① _____ ② _____ ③ _____

Blank area for writing answers, consisting of multiple horizontal lines.

—ミノロエノノノノ③ ノノノノノノ② 誰ノ①：ノ景

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。